

おじいちゃんからのひとこと
「美代子!?. うちの美代子は何んでもよくしゃべってにぎやかな子供だナァ……。しゃべってもらった方が話相手になっていいんだ。時々、けんかもするけど、美代子をたよりにしているんだ。」



山田 美代子
(脇元小・6年)

長生きバンザイ!! ひいじいさん 曾祖父と私

曾祖父は三年前、曾祖母が亡くなってから変わってしまった。お酒も飲むようになったし、でもしない大工仕事もやるようになった。

曾祖母が生きていたころの曾祖父は、とても厳しくしていたが、おそう式の時にはずっと下を向いたきり、何も言わなかった。

悲しそうな目をして、口びるをかみしめていた。

それからというもの曾祖父は、酒を飲んではやさをこぼしていた。しかし、その目は悲しそうで、さみしさをこらえようとしているのがわかる。

あんなに厳しくしていてもやはり曾祖母を大切に思っていたのだろう。愛していたの

だろうか。

私はそのことを考えると、胸に熱いものがこみあげてきた。そして曾祖父を大切にしなければならぬ、という気持ちも湧かんできた。

「美代子」
曾祖父が呼ぶ。私は反抗的に無視することがたびたびあった。でも、そのような態度ではだめなのだ。

やさしく、明るい態度で接すると曾祖父も気持がいいだろうし、それが家族全員を明るくすると思う。

九十六歳になった曾祖父はいつも元気だ。

私はな曾祖父を大切に、できるだけやさしくしていくつもりだ。

今月の主な記事

- 村づくり計画スタート-----2~3
- 太田小学校新築-----4
- 新成人・大人の仲間入り-----5
- 脇元岩木山神社大祭-----6
- 海洋センター無償譲渡-----7
- 市浦村長寿番付-----8~9
- 交通安全駅伝大会-----10~11
- 歴史漫歩-----12
- おしらせ健康への道-----13
- 戸籍の恋-----14

面を作りたものである。す
くりの正しい羅針盤となる計
画が、21世紀へむけて、村づ
くりの問題を抱えていると思いま
すが、21世紀へむけて、村づ
くりの正しい羅針盤となる計
画を作りたものである。

21世紀への展望を含めて、
今世紀最後の十年間の村づく
りを如何にするか、各分野の
専門委員を交えて、村内から
広く意見を結集することは、
村政上非常に有意義なこと
と思います。

わが郷土を如何に、明るく
すこやかに、そして豊かなも
のにして行くか、村民それぞれ
の希望や意見があると実現
するための集約して現実
化する計画をたてるのが、審
議会の責任でありましよう。



高橋 精一 (輪元・60歳)

村づくりの 羅針盤



基調講演をする下平尾勲教授



98人の審議委員に委嘱状が交付され、
全村民の1割委員会、がスタートしました

「本市には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

審議委員 98人に委嘱状交付 教下平尾 地域のイメージづくりを強調

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

たのではない。地域おこし
に大切なことは、地域のイメ
ージをつくること、積極性、
想像性、明るさ、将来必ずよ
くなっていくというイメージ
とまつわることが、仕事ができ
るようになっていけばいい」と
述べた。

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

村の活性化にむけ企画課を
中心に市浦の暗いイメージを
一掃しようとする資源の特性を生
かした観光産業に力を入れた
いるもの、働く職場がない
限り流出は阻止できない。
村のサバイバルを考えた時
若者達が住んで良かったなあ
と言っている行政が、今一番求
められていると思う。
村おこしのため、相内分校
等の活用も急遽に検討し卒業
と同時に地元で働ける行政の
手腕を期待している。

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を



三和 孝治 (相内・43歳)

村づくりの 羅針盤

「本村には、海と山と湖に恵ま
れ、無限の可能性を秘めた資
源がある。これら資源を生か
した産業づくりと、それを支
える人づくりが課題である。
計画づくりの課程で生まれる
発見を村づくりの基礎にしたい
。村民一人一人の知恵と汗
を結集することが必要だ」と
あいさつしたあと、専門委員
会を代表して、下平尾勲委員
長(福島大学教授)が「市浦
は、いろいろな面で動きのある
村であり、この村づくり
には協力してほしい」と思っ
た。素晴らしい景観と歴史背景を
踏襲した手づくりの振興政策を

木の学校 期待されるぬくもり教育、 県内では初の試み

太田小新築へスタート

全児童が出席し起工式

同校の旧木造校舎は、昭和二十七年の建設で老朽化が進み、緊急にその対策が望まれた地区住民の一部には、統合建設への要望もありましたが、村では財政計画等と照らして、県との財源調整を進める一方、相内小学校との統合も検討してきました。

しかし、太田小学校は、分校の時代から父母たちの手によって守り育てられてきた歴史の重みがあり、地区住民にとっても、学校は地域内の文化センター的役割を果していること。

同校は児童たちの自主学習の養成や小規模校の利点を生かした独自の教育方法で、他校から注目されていること。文部省の木材使用促進指導で、国の補助金が鉄筋並みに引き上げられたこと。

市浦村立太田小学校（浅野敏雄校長・児童二十一人）の増改築工事の起工式は、八月三十日午前十一時から行われ、地区住民、工事関係者らが工事の無事完成を祈願しました。

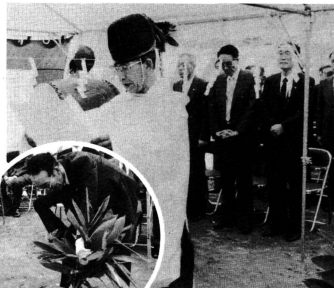
校内で発生している「いじめ」や「暴力・自殺」等の問題は、大規模校の弊害であるとも言われ、小規模校の見直し論が取り上げられる等、単

屋建て校舎を今年十二月までに完成させます。

この日の起工式には、村、教育関係者をはじめ、同校の全児童、父母ら約七十人が出席。三重賞村長、青山又一村議長、父兄ら約七十人が出席。三重賞村長、青山又一村議長、父兄ら約七十人が出席。三重賞村長、青山又一村議長、父兄ら約七十人が出席。三重賞村長、青山又一村議長、父兄ら約七十人が出席。

に財源対策や目先のことだけでなく、結びつけることができないうなどから、地場産のヒバを活用した「木の学校」づくりに踏み切ったものです。村では、夏休みが始まった先月末から旧校舎の解体作業に入り、総事業費約一億一千五百万円を投じて、同じ場所

に七百二十八平方メートルの木造平木材校舎による「ぬくもり教育」を促進する文部省の事業認定は、同校が県内で初めてあり、各地の同規模校、教育関係者から注目されています。



起工式に参列した関係者

活力あふれる子どもの育成をめざして



太田小学校長 浅野敏雄

「ご承知のとおり太田小学校は完全複式の小規模校です。心も体を健康で活力あふれる子どもの育成をめざし、日々の実践に腐心してきたわけですが、この度、村長をはじめ関係機関のご努力により、校舎新築の運びとなりました。学区民はもちろん、本校児童にとっては最高のプレゼントになりました。」



解体された思い出の旧校舎

大規模校においても、一般授業の複式化が見直されるようになってきた昨今、この校舎新築は意義深いものを受けとめて間違いありません。

- 完全複式の指導法の先駆的な役割を果たすこと
- おやか・すこやかタイム全校習字とおして傳播教育の陶冶をはかること
- 自然学習と勤労体験学習を推進すること

新校舎では、この三を教育の中軸にし、「床の光は心の光」の精神を育み、より一層の定着に努力を怠りませんつもりです。

子どもとお年寄りの交通事故を防止しよう。相内保育所と十三保育所ではこのほど園児鼓笛隊により、地区内目ぬき通り約一・五キロを交通安全パレードを実施しました。

パレードには、園児のほか、に母の会々々も参加し、手づくりのアラカドや交通安全ふたを運びかけました。

子どもとお年寄り
を交通事故から守ろう

保育所で安全パレード

真白なコスチュームを着けたパトントワラーや、元気一杯行進する鼓笛隊のよい子たちは、治道からは盛んに拍手や声援が飛んでいました。また、車を止めて、かわい



相内保育所



三保園

24人が出席
大人の仲間入り



自覚も新たに出席した新成人

夏型成人式
今年も簡素に



誓いのことばを述べた竹谷裕子さん

市浦村の成人式は、八月十日四日コミュニティセンターで開かれ、対象者四十九人の新成人のうち二十四人が出席しました。

夏型成人式に切り替えてからは二回目の成人式でしたが、簡素ななかにも厳肅なムードがたがよっています。

式典では、三重賞村長、青山又一村議会議長、柏谷美智

市浦村の成人式は、八月十日四日コミュニティセンターで開かれ、対象者四十九人の新成人のうち二十四人が出席しました。

夏型成人式に切り替えてからは二回目の成人式でしたが、簡素ななかにも厳肅なムードがたがよっています。

式典では、三重賞村長、青山又一村議会議長、柏谷美智

雄選挙管理委員長らが祝辞を述べたあと、新成人一人一人に記念品が手渡されました。

これに対し新成人を代表して、竹谷裕子さんらが「どんな苦しみや試練があろうと、強い心と若さで乗り越えていきます」と、力強く誓いのことばを述べました。

このあと、新成人一人一人が一分間スピーチで自己アピール、これから自分が歩むべき抱負や感想を述べました。

また、「ヒロシマ・ナガサキ」の映画では、平和であることの尊さをかみしめるとともに、久しぶりに会う同期生との思い出に花を咲かせていました。

新しい学校が、少しずつできています。今度の学校は、前とは違って放送室もあるそうです。今までは、職員室の部屋になっていたのです。各教室の前には、小さな広場のようなものもあります。とても便利になっています。



太田小六年 奈良 千恵子

思い出を大切に

ろのいっばいな学校です。古い学校では、教室の中で笛の練習をしたり、大きな声で本読みなどをしました。天気の良い日は、外のジャンブルジムで、くじらおにをし、つり橋でジャンケンわたりを遊びました。でも、もうその学校はありません。

一年から五年生までの楽しい思い出を大切にしながら、新しい学校での残り少ない学校生活を、思うぞんぶんがんばりたいと思います。

初めての卒業生



奈良 靖宏 太田小六年

ばくたちの学校は、今年、改装されることになり、その間は保育所で勉強することになりました。二階で勉強しているのでも、下と大きな音を立てると、下の職員室にひびいてめいわくがかかってしまいます。また、古い学校をこわす音や、土やコンクリートを運ぶ車の音は、いがんばるつもりです。

けれども、新しい学校で卒業する。初めての六年生として、残りの半年をせいっぱいがんばるつもりです。

新しい学校ができるのは、もう三学期になってしまおうしよう。新しい学校には、三ヶ月しか入れません。すこく残念です。

けれども、新しい学校で卒業する。初めての六年生として、残りの半年をせいっぱいがんばるつもりです。

脇元岩木山神社大祭

雨にもめげずにぎやかに

彩り添える小馬踊り



地区内を練り歩く小馬踊りは、お山参詣には欠かせないものとなっている。



お山参詣 ことしはあいにくの雨にたたられたが、年々盛りあがりを見せている。

五穀豊じょうと家内安全を願う、脇元岩木山神社大祭「お山参詣」が、九月四日(旧歴八月一日)にぎやかに行われました。

備前備後 六根備後
備前備後 八金剛備後
二礼拝 南無帰命頂礼

脇元地区の人々にとって、もや山は昔いままも、故郷の原点とも言える山です。高さ五百五十二・四の露山は、江戸時代から「脇元岩木

山」として崇められ、毎年旧歴八月一日に祭礼が行われてきました。

市浦村史によると、「この地方に権勢を誇った安東一族の一人、安倍氏季の時代に弘前市十腰内の巖鬼山から分霊し、社を建てて、小巖鬼山」としてあがめた」とあります。

新しくは、江戸時代に岩木山神社と名称を変えたが、戦前まで岩木山の進拝所として存続してきた由緒を持ち、これまで絶えることなく地元住民によって「お山参詣」が行われてきました。

今年のお山参詣は、あいにくの雨にたたられましたが、隣接町村からは老若男女百五十人が集まり、奉納する御祭のほりを高く掲げ、笛、太鼓、かね等の登山ばやしに合せて「サイギ、サイギ、ドッコイサイギ」を唱えながら山頂を目指した行列が続きました。

お山参詣では今年も、朝早くから小馬踊り保存会や脇元小学校児童ら百五十人が小馬踊りで村内をばねわり、特設舞台では芸能発表大会、民謡ショーなどが行われました。お山参詣の笛、太鼓の響きが遠のくと、秋はかけ足でやってくる。

山」として崇められ、毎年旧歴八月一日に祭礼が行われてきました。

市浦村史によると、「この地方に権勢を誇った安東一族の一人、安倍氏季の時代に弘前市十腰内の巖鬼山から分霊し、社を建てて、小巖鬼山」としてあがめた」とあります。

新しくは、江戸時代に岩木山神社と名称を変えたが、戦前まで岩木山の進拝所として存続してきた由緒を持ち、これまで絶えることなく地元住民によって「お山参詣」が行われてきました。

今年のお山参詣は、あいにくの雨にたたられましたが、隣接町村からは老若男女百五十人が集まり、奉納する御祭のほりを高く掲げ、笛、太鼓、かね等の登山ばやしに合せて「サイギ、サイギ、ドッコイサイギ」を唱えながら山頂を目指した行列が続きました。



小馬踊り後の一杯は格別だ



サイギ、サイギのかけ声で奉納する農水産物やのほりを先頭に行列が続きます。

海洋センター(体育館)を無償譲渡

B & G財団が市浦村に

村民総体育

高率利用認められる

昭和五十六年から五十八年にかけて完成、オープンさせたB & G財団市浦海洋センター(体育館、艇庫、屋根付きプール)が、開館三年(最終建設年度から起算)を過ぎて

建設者の「ブルーシー・アンド・グリーンランド財団(B & G財団・笹川良一会長)」から、市浦村に無償譲渡されました。

八月三十日、相内地区にオープンしました。

村民の健康増進と青少年の健全育成を目的に建設されたB & G財団市浦海洋センター(体育館)は、昭和五十六年

リット造平屋建てで、総工事



スポーツ活動の拠点施設として村民に利用されている市浦村B & G海洋センター(体育館)

費は二億四千八百九十五万円。建設面積は百九十二・二七五平方メートルで、内部施設は事務室、ミーティングルーム、シャワー1室などが配備されている。また七百三十平方メートルの体育館は、パレールコート二面、バドミントンコート四面、バスケットコート一面、テニスコート一面がとれる広さです。昭和五十七年七月七日には相内の大沼地区に総工事費二千万円を投じて、鉄骨造平屋建(百九十九・九八平方メートル)の艇庫を完成させたほか、カヌー(12艇)、OPデングィ(8艇)、カッター(2艇)、12Fヨット(2艇)、ローボート(2艇)、ダブルスカル(1艇)、ゴムボート(1艇)、船外機(1機)、ライフジャケット(40着)を配備しています。

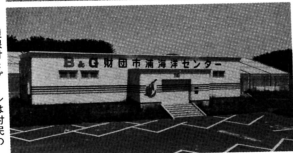
昭和五十八年七月二十日には、鉄骨造平屋建て(百二十五・二五平方メートル)の屋根付きプール(アルミ製、25メートルと幼児用プール)を九千三百五十万円を投じて完成させました。

特にプールは、天井にビニールを張りめぐらし、温泉と同じ原理で室温を高めるユニークな構造で、親子で楽しめるプールとして利用が高まっています。

屋根付きプールは村民の利用が高い。



相内の大沼地区に建設されている艇庫。



同センターによると、これまで全施設を延べ一万三千八百五十四人が利用、施設別では体育館が五千五百五十六人、艇庫利用者は八百二十六人、プールは七千四百七十二人となっており、パレールコート大会、卓球大会、バドミントン大会などの各種行事のほか、お年寄りの室内ゲートボールや海洋性スポーツ等、多目的に利用されています。

B & G財団では、同センターが「村民総体育を目的として積極的に利用され、青少年の健全育成と地域住民の健康増進の基盤を築いた」として、村への無償譲渡を決定した。村への無償譲渡は、八月二十三日、東京で行われた譲渡式には、三重県村長らが出席、正式契約をしましたが、これで同センターは「B & G財団市浦海洋センター」から「市浦村B & G海洋センター」と名称が変更され、完全に村有となりました。同センターの維持管理、利用運営は、これまでと同じく村が行いますが、「村民総体育と青少年の健全育成のため、さらに効率的活用をはかりたい」と意欲を燃やしています。

市浦村長寿番付

東方

西方

	氏名	年齢	生年月日	地区	
横大	綱山	弥一	95	M23. 9.16	脇元
	高田	弥一	93	26. 7.17	桂川
	佐藤	弥一	92	27. 7. 2	相内
	奈良	弥一	91	27.10.24	太田
	小秋	弥一	89	29.10.20	十三
	山内	弥一	88	30.11.10	桂川
	沼田	弥一	87	30.12. 7	十三
	岡本	弥一	87	31. 9.16	脇元
	山田	弥一	86	32. 8. 1	相内
	工藤	弥一	86	33. 6.27	脇元
3	山田	弥一	86	33. 9. 9	相内
	今藤	弥一	85	34. 3.20	相内
	山岡	弥一	85	34. 6. 1	相内
	新田	弥一	85	34. 7.14	磯松
	秋田	弥一	84	34.12. 8	桂川
	谷川	弥一	84	35. 1.20	十三
	三和	弥一	84	35. 2.20	相内
	村松	弥一	84	35. 4.20	磯松
	江田	弥一	84	35. 6.10	十三
	秋田	弥一	84	35. 7.27	磯松
14	後藤	弥一	84	35. 8.21	桂川
	西田	弥一	83	35.10. 4	磯松
	藤田	弥一	83	35.12. 2	脇元
	藤田	弥一	83	36. 3.17	相内
	龜田	弥一	83	36. 5. 4	十三
	宮崎	弥一	83	36. 5.15	十三
	福有	弥一	83	36. 7. 4	十三
	木村	弥一	83	36. 8.29	十三
	相馬	弥一	82	37. 1. 1	相内
	佐藤	弥一	82	37. 1.27	十三
24	奈良	弥一	82	37. 2.15	十三
	煤田	弥一	82	37. 2.26	十三
	高橋	弥一	82	37. 3.25	十三
	葛西	弥一	82	37. 4. 9	脇元
	相坂	弥一	82	37. 5.30	十三
	成田	弥一	81	37.10.10	脇元
	佐藤	弥一	81	37.10.27	相内
	山田	弥一	81	38. 1. 4	脇元
	佐々木	弥一	81	38. 2.12	相内
	宮本	弥一	81	38. 5.10	相内
7	成田	弥一	81	38. 5.29	脇元
	浜田	弥一	81	38. 8.25	十三
	石岡	弥一	81	38. 9. 3	脇元
	富坂	弥一	80	38.10. 3	磯松
	引坂	弥一	80	38.10.12	脇元
	伊南	弥一	80	38.11. 1	磯松
	三和	弥一	80	38.11.29	脇元
	岡本	弥一	80	39. 2.18	相内
	佐藤	弥一	80	39. 6. 4	相内
	木村	弥一	80	39. 8.20	磯松
16	木村	弥一	80	39. 9. 5	十三

蒙御免

(昭和六十一年九月十五日現在で満八十歳以上の人を対象)

勲進元 市浦村役場

	氏名	年齢	生年月日	地区			
横大	葛西	磯吉	94	明治24.11.23	磯松		
	大関	磯和	92	26. 9.23	十三		
関脇	川原	カシ	91	27.11.10	相内		
	白根	長一	89	30. 6. 6	磯松		
	秋田	沢長	88	30.11.27	相内		
	小結	崎手	88	31. 3. 8	脇元		
	前頭	山田	キタ	88	31. 9.30	脇元	
		1	成田	重吉	87	31. 9.30	脇元
		2	小島	重吉	86	33. 3. 4	十三
		3	福今	雷太郎	86	33. 9. 1	十三
		4	藤田	ハシメ	85	34. 1. 3	磯松
		5	藤田	はつ	85	34. 3.28	磯松
6		寺谷	武三	85	34. 6.27	磯松	
7		谷島	ハシメ	84	34.11.11	磯松	
8		大川	ジュン	84	34.12.23	磯松	
9		奈良	良上	84	35. 2. 8	太田	
10	三和	源三郎	84	35. 4.18	脇元		
	11	安田	源三郎	84	35. 5.24	十三	
	12	和田	善次郎	84	35. 7.15	相内	
	13	藤田	と	84	35. 8. 4	磯松	
	14	本庄	エナ	84	35. 8.25	十三	
	15	台丸	ス	83	35.10.25	脇元	
	16	佐藤	多三	83	35.12.28	脇元	
	17	若山	ミヤ	83	36. 4. 6	十三	
	18	葛西	ミ	83	36. 5.13	脇元	
	19	奈良	良	83	36. 5.23	太田	
20	相白	沢川	83	36. 8. 1	磯松		
	21	相白	キチ	82	36.11. 5	相内	
	22	八木	沢川	82	37. 1.15	十三	
	23	丸山	ツツ	82	37. 2. 5	太田	
	24	三上	サト	82	37. 2.18	脇元	
	25	中田	シ	82	37. 3.15	磯松	
	26	吉田	サ	82	37. 4. 5	脇元	
	27	山田	タ	82	37. 5. 1	脇元	
	十両	1	成田	豊太郎	81	37.10.21	相内
		2	成田	タ	81	37.12.10	太田
3		秋田	タケ	81	38. 2. 8	桂川	
4		三上	善之	81	38. 4. 4	相内	
5		武田	ソ	81	38. 5.24	太田	
6		奈良	慶三郎	81	38. 7.13	太田	
7		相和	ナガ	81	38. 8.29	磯松	
8		豊島	柏太郎	81	38. 9. 5	十三	
9		今小	イ	80	38.10.11	相内	
10		寺和	マ	80	38.10.12	脇元	
11	11	三和	佐市郎	80	38.11. 5	相内	
	12	葛西	ト	80	39. 2. 8	脇元	
	13	浜田	トシ	80	39. 2.23	十三	
	14	安保	利三郎	80	39. 8. 5	相内	
	15	米谷	キ	80	39. 8.28	相内	

●この番付は、「敬老の日」にちなんで、昭和61年9月15日現在で作成しました。

東方



山田 弥一さん



高田 さつさん



佐藤 くよさん

長い老後をどう生きるか。人生八十年時代をむかえて、わたしたち一人ひとりが真剣に取り組まなければならぬ問題です。

日本の平均寿命は大幅に延び、現在の平均寿命は約八十二歳、現在六十五歳の人の平均寿命(あと平均して何年の余命があるか)は、男性で約四十六年、女性で約四十九年です。

いまや、余生。というようにな人生五十年時代につくられた考え方や生き方は、大きな見直しを迫られています。

人生八十年時代の豊かな老後生活とは――。長い老後をどう生きるか。わたしたち一人ひとりが、いまずぐ取り組

まなければならぬ問題です。特に本村においては、六十五歳以上のお年寄りが五百七十八人、総人口に占める割合は十四・六割で、県内ではトップクラスとなっています。

村では今年も、長寿番付を作成し、長い間社会に貢献してきたお年寄りを顕彰しました。

番付では、山田弥一さんが村内の最高齢者として、東の横綱に、西の横綱には磯松地区の葛西磯吉さんがまわりまわって、西横綱は、いまま元気で農作業をされており、その實録をみせてあげています。

また、夫婦そろって八十歳

◆地区別65歳以上の人口 (昭和61.9.1調)

	男	女	計
相内	(728) 64	(736) 104	(1,464) 168
太田	(179) 23	(166) 27	(345) 50
桂川	(46) 9	(52) 9	(98) 18
磯松	(221) 25	(227) 37	(448) 62
脇元	(293) 41	(337) 84	(630) 125
十三	(490) 58	(497) 97	(987) 155
計	(1,957) 220	(2,015) 358	(3,972) 578

()内数は総人口

西方



葛西 磯吉さん



浜田和三郎さん



奈良 長市さん

長寿番付発表 八十歳以上は九十九人

横綱は山田さんと葛西さん

以上は相沢長一郎・キナさん、今儀作・イマさんの二夫婦です。

村敬老大会で湯のみプレゼント

脇元・老人生きがいセンター

陶芸で楽しい毎日 ― 自信作に取り組み ―



「陶芸は生きがいです」作品に取り組み陶芸グループ

脇元地区にある老人生きがいセンター(成田永吉運営委員長)は、昭和五十八年に完成しましたが、以来、習字教室、郷土芸能の保存、講演会の開催、ゲートボール、老人スポーツ大会など、自主的な活動を展開してきました。

陶芸教室も、お年寄りの生

きがい対策事業の一つとして始められたもので、同センターに完成と同時に、弘前市の陶芸家成田吉光先生を講師に招き、熱心に取り組んできました。

毎年開催している村主催のふるさとまつりやバザーには、数多くの作品を出品し、益金

の一部を村社会福祉協議会に寄付するなど、趣味と実益を兼ねた有意義な活動となっています。

さらに今年は、村内のお年寄りに、自分たちの手で作ったものをプレゼントしようというので、七月から、暑入りの湯のみの製作に取りかかり、成田先生の指導で約六百個の湯のみを作りあげました。

村内には七十歳以上のお年寄りは四百八人いますが、同センターでは四百五十個を選び、九月十五日開催の村敬老大会に出席したお年寄りにプレゼント、出席したお年寄りから喜ばれました。

同センターの陶芸グループでは、これから予定されている展示会やバザーに出品する花器やつば、食器類などの製作に取り組み、デザインやアイデアを出し合いながら、自信作出品へ毎日張り切っています。



9月15日プレゼントした「湯のみ」

防止を呼びかけ

駅伝を通して、交通安全思想の高揚啓発につとめ、事故のない明るい地域社会をつくらうと、八月三十一日交通安全駅伝大会を開催しました。



選手宣誓をした渡辺君

駅伝を通して、交通安全思想の高揚啓発につとめ、事故のない明るい地域社会をつくらうと、八月三十一日交通安全駅伝大会を開催しました。

駅伝を通して、交通安全思想の高揚啓発につとめ、事故のない明るい地域社会をつくらうと、八月三十一日交通安全駅伝大会を開催しました。

駅伝を通して、交通安全思想の高揚啓発につとめ、事故のない明るい地域社会をつくらうと、八月三十一日交通安全駅伝大会を開催しました。

駅伝を通して、交通安全思想の高揚啓発につとめ、事故のない明るい地域社会をつくらうと、八月三十一日交通安全駅伝大会を開催しました。

第八回目となったこの大会は、市浦村と体育協会が主催しているもので、村内を一巡する42・4のコースをセブチームが参加して、健脚を競い合いました。

開会式は、午前九時からB&G財団市浦海洋センターで行われ、大会長の島津典明体育協会長が「スポーツを通して明るい村づくりに努めているが、この大会は交通事故防止を地域住民に呼びかけ、村民相互の親善融和、そのねらいとしている。交通事故の

ない地域にするためがんばりましょう」とあいさつしたあと、三重貞村長、坂田宗等金木警察署長、土岐輝雄金木地区交通安全協会長、青山又一村議会議長らが「勝負を競うだけでは、この大会の目的は達成できない。道路を利用するすべての人たちに交通安全を呼びかけるためには、自らが交通マナーを守ることが大切だ。交通安全の輪が地域内へ広がるよう力走してほしい」と激励しました。

渡辺淳也君「相内第二が、交通事故を防ぐため、最後まで一生けんめい走ります」と力強く誓い、午前十時、海洋センター前から一斉にスタートしました。

村内六地区42・4のコースを十七区間に分け、小・中・高校生のほか、一般女子、二十代、三十代、四十代といった区間ごとの対抗戦を展開しました。

各地区から選ばれた選手たちは、激しい競争の中を流れ落ちる汗をもとめせず、元気いっぱい。

地区の栄誉と交通事故防止を呼びかけて力走する選手たちに、沿道にかけた住民からも大きな声援と拍手がおこられていました。

相内第三チーム優勝

42・4キロに健脚競う



開会式

交通指導をする関係者

スタート前の作戦タイム

前半スタートは高校生

あとはまかせて

カマノ次ははくの出番だ



参加者も増え、駅伝大会は、地域ぐるみのものとなっている。

第8回 交通安全駅伝大会

村民へ事故

参加者も増え

地域ぐるみの駅伝大会

市浦村では、昭和五十八年八月二十三日磯松地区の国道三三九号線で、若者の運転する暴走車が砂防林に突っ込み一人が死亡したのを最後に、交通事故は発生しておらず、八月三十一日で千四百四市浦村体育協会では、パレ



激励した坂田警察署長

ーボール、卓球、バドミントン、陸上、野球などの各種大会やスポーツ教室を開き、スポーツをとおした明るい地域社会の形成をめざしています。若者中心の団体であるだけに、交通事故防止や交通安全運動にも積極的に参加し、地域、家庭、仲間から交通事故の犠牲者を出さない、暴走飲酒運転は絶対しない、を合言葉に、会員が一体となってスポーツ活動を展開しています。

- ◆競技結果は次のとおり。
- 優勝相内第三(大谷、田子、小寺、三浦、三和(龍)、野上(龍)、三和(龍)、野上(龍)、安保、今、木村、柏谷、三和(一)、三浦(秀)、四三(和)、伊藤、三和(龍) 2時間45分33秒。▼準優勝相内第四(三和(龍)、田中(龍)、三和(龍)、成田、吉田(三和(龍))、三和(龍)、岩間、三和(龍)、山田、佐藤(龍)、三上(龍) 2時間47分19秒。▼第三位十三第一、2時間50分04秒。▼第四位協元第一、2時間53分05秒。▼第五位相内第二、2時間57分54秒。▼第六位太田、2時間58分26秒。▼第七位相内第一、2時間59分49秒。
 - ◆区間賞は次のとおり。
 - ▼一区柳引浩二(協元) 10分07秒。▼二区中村(協元) 7分24秒。▼三区石岡和人(協元) 10分13秒。▼四区笹山明美(相内第一) 8分36秒。▼五区三和敏道(相内第三) 11分59秒。▼六区吉田壮史(相内第四) 7分43秒。▼七区三和敏子(相内第三) 8分18秒。▼八区佐藤竹治(相内第四) 8分28秒。▼九区三和富士男(相内第一) 13分40秒。▼十区成田松美(協元) 5分47秒。▼十一区木村康仁(太田) 8分46秒。▼十二区浜田降樹(十三第一) 9分43秒。▼十三区藤本恒徳(十三第一) 4分10秒。▼十四区三浦秀治(相内第三) 10分18秒。▼十五区三和太純(相内第三) 8分59秒。▼十六区成田茂広(協元) 10分12秒。▼十七区島津謙(相内第四) 9分18秒。

小学生女子が後半のスタート



タイムを記録する審判員



あーあ、つかれた



日本海をバックに舟走



がんばりました

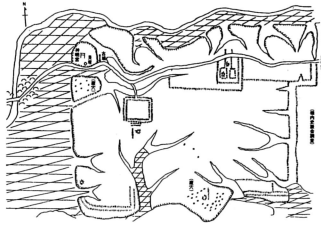


優勝した相内第三チーム

力走する選手たちに拍手から大きな拍手と声援がありました。



福島城跡



▶ 73 ◀

福島城址 (2)

興之島城址

二、三の問題
といった、この福島城は、いつ、だれが、どんな目的たものなのでしようか。

こんな問題に胸をふくらませながら、ひとり歩きをしてみるのもおもしろいものです。

築城年代

さて、秋田家古文書「十三湊新城記」(一名「十三湊記」)の冒頭に、「大日本奥州十三湊新城は花園帝の御守正和年中に安倍貞季公の築ける所の城なり」(原漢文)とうたわれています。
花園天皇は第九十五代目の天皇です。正和は五年まで、西紀でいいますと、一三二一—一三二六年です。今から約六七一年前となりま

す。鎌倉末期の北條高時が執権の時です。この後すぐ安東氏一族の内紛もめが始まっています。この後から考えますと、この福島城の築城年代はもつと以前に築かれています。いなければならぬと思えます。このことは後程話します。

とにかく安倍安東氏が築城した新城であることには間違いないようです。

住みよいところ

この福島城の北方の西隅は有名なオセドウ貝塚遺跡であることから考えてみま

す。この地帯は縄文時代から引続いてつと々々が生活していたことが想像されます。南は十三湖に突出し、西方には相内川が流れ、支流の太田川が北方を開

いて流れています。十三湖は若木川をはじめたくさんの川が口を開いています。津軽内部に通ずる「川の道」です。

中世の惑星といわれる安倍安東氏が、住みよい所として目をつけて築城した理由がうなずけるわけです。

海上交通

古代中世にはまだよく陸上交通が開けていませんでしたので、海上交通によっての方が便利であったわけ

です。
蝦夷管領を命ぜられていた安倍安東氏が早くから十三湊に目をつけていたものでしょう。北方の蝦夷地の管理や下北地方の蝦夷の管理のためはどうしても十三湊に拠点を置く必要があったものと思われ

ます。
また、蝦夷の管理面ばかりではなく、海外貿易を目指した安倍安東氏としてはどうしても十三湊に拠点を置く必要があったわけ

です。
このようなことを考えてみますと、福島地、古代から先住民族の一拠点であったこの地を築城の場所として選地した安倍安東氏の遠見に今更ながら驚かされます。

今日はこの位のことを考へながら、城内をブラブラ歩きしてみましよう。

津軽のことわざ

ひの部

人の痛いの(いた)は三年でも我慢する。直接利害のないことはいくらでも我慢するという意。人の皮がぶる。外面善悪内面夜叉のこと。

人の口ア戸立てられね。人の噂は防がれぬもの。人の背中で実背負。他人の努力、功績を我が物で横どりすること。苦しいことは他人に負わせ、自分だけよい思いをすること。

人の痴氣痛むな。あれこれと人のことまで思いわずらうなという意。

人の振り見て我が振り直せ。人の行いを鏡として自らを反省することが必要。

人の噂で相頼む。自分の物は使わないで仕事をする。出すものは人に仕える。自分だけよいことをする。

人の仕事を奪うこと。生活のたてを奪うこと。人の飯食わねば一人前にならぬ。かわい子には他人に奉公させろという意。

人の物ア吾の物。吾の物ア人の物。強欲なことの意。

人は人中、馬は馬中。人はやっぱり人が恋しいもの。



▶ 16 ◀

脳卒中を考へる

―なぜ多い十三地区―
駐在保健婦 鎌田 明 美

市浦村では村民が健康で長く働けるために毎年各種検診を実施して、成人病の予防早期発見につとめています。なかでも高血圧と脳卒中については、若い人から老人まで保健知識が深まり、脳卒中の予防に心がけることが一般的なものになりました。

しかし人口四千八百人たらずの市浦村で、脳卒中がゼロの年和六十年までの脳卒中患者数(把握数)は六十二名、さらに過去十年間に亡くなった脳卒中罹患患者数をあわせると、百四十名にのぼります。

また、地区ごとの脳卒中罹患患者を昭和五十一年から六十年までの十年間で調べ、発生率を出してみました。驚いたことには相内(桂川を含む)地区の発生率が最も低く、逆に十三地区の発生率がとびぬけて高い結果が出ました。

なぜ地域で脳卒中の発生に差が出るのでしょうか。なぜ十三地区は脳卒中の発生率が高いのでしょうか。同じものを食べて、同じように生活しているはずなのに、いったい何が作用しているのでしょうか。考えられる要因をみつつけ

出し、それを改善することで脳卒中を防ぐことができるかもしれません。

十三地区が脳卒中の多い地区として計算上で出されたことからは、以前より、十三の井戸水は塩かよい、といわれていることに着目して、十三の井戸水が他の地区の井戸水に比べて本当に塩からいのかを第二段階として保健所の協力を得ながら実地調査をすすめていく計画です。

結果の報告はまともり次第紙面でお知らせいたします。

窓の戸籍

お誕生

- 奈良 曜(十三) 広樹
- 相川 諒介(十三) 征昭
- 三上 佳子(脇元) 義文
- 三橋一 渡(磯松) 清
- 秋田谷 五月(桂川) 克春
- 秋田谷 志乃(桂川) 清光
- 三浦 美喜子(相内) 久造
- 吉田 美穂(相内) 重夫

- ご結婚
- 下澤 俊子(十三)
 - 石澤 信司(脇元)
 - 石田 哲夫(磯松)
 - 須藤 由貴(磯松)
 - 須藤 美奈子(今別)
 - 間山 美奈子(今別)
 - 工藤 泰樹(脇元)
 - 梶浦 ゆかり(青森)
- お八ヶみ
- 古川 秀明(太田)
 - 大森 光子(横洪)
 - 木村 弘伸(十三)
 - 秋田 つ子(車力)
 - 伊藤 力(宮城)
 - 氏家 由美子(桂川)
 - 齋藤 忠司(稲垣)
 - 三上 智子(脇元)
 - 成田 忠二(脇元)
 - 成田 久子(三沢)
 - 白川 一紀(脇元)
 - 太田 憲子(小泊)
 - 新岡 正治(十三)
 - 秋田 美代子(稲垣)
 - 新岡 文美博(五所川原)
 - 渋谷 美智子(相内)
 - 山田 昭子(相内)
 - 河端 清春(三戸)
 - 松江 昭子(十三)

プロ野球雑観

若者登場



大沢 丈徳 (十三・22歳)

行政マンとしてのプロ意識

二十二歳になったばかりの野球狂新人類です。プロ野球は今年も大話を迎え、セリーグ(巨人・広島)バリーグ(西武・近鉄)とも、

「足が速くても、打率が悪くても、鍛錬を欠かさず一生けんめい努力すれば、最後は勝つ。」興奮気味に語る解説者の言葉が続いていた。

特に九月八日の巨人対大洋戦一対一で迎えた八回裏二アウト一、三塁。当然「強行策だ」と思っていた攻撃に、あの足の速いといわれている有田選手が絶妙なセーフティバントをし、「塁ベースにヘッドスライディングをしたのである。まさにプロの技と意

をみせつけられた思いである。

「いかにプロ野球でも二度とみるべきでないプレーだと思っ」

「足が速くても、打率が悪くても、鍛錬を欠かさず一生けんめい努力すれば、最後は勝つ。」興奮気味に語る解説者の言葉が続いていた。

いま、水産商工を担当している役場職員の一入であるが何事にも一生けんめい取り組むことの大切さを、あのプレーから学ぶことができた。行政マンとしての自覚を新たに、私も行政のプロになるため、ヘッドスライディングをしたいと思っっている。

お八ヶみ

葛西武和さん(脇元) 長女 敬子ちゃん(8ヵ月) おじいちゃん似だっけいうけど、そっくるところも、お父ちゃんそっくうでしょう!?

